

バンクーバー便り12

バンクーバー時間：2023年8月7日(月)午前10時5分

日本時間：2023年8月8日(火)午後2時5分

今回はバンクーバーにおける日系人・日本人の最大のお祭り、パウエル祭を訪ねました。パウエル祭は7月末から8月初めに行われますが、今年は8月5日(土)と6日(日)でした。先の便りにも書きましたように、パウエル街は戦前日系人の方が多く住んでいた地区で、ジャパントウンとも呼ばれましたが、日系の方はパウエル街と呼ぶ方がなじみ深いようです。このパウエル街の中心にオープンハイマー公園があります。この公園を開催場として周辺の道路に露店が並び、それはそれは凄い数の人達が集まっていました。日系人・日本人が多いのですが、他の人種の人達もこれを上回る数に思えました。公園の近くには日本語学校や仏教会(寺院ですが差別を避けて教会という名称にしたとの悲しい歴史)があり、ここは日系人のメッカのような場所です。しかし今のパウエル街は、先にお話ししたように、ホームレスや薬中の人たちの集まる場所になり、かつての活気あるパウエル街は失われてしまいました。それだけにこのパウエル街から追われた日系の人達の執念を現わしているかのようにパウエルの名称とこの場所は今後も変えられない大切なモニュメントなのだと思います。また日系カナダ人を敵視し(独伊はお構いなし)、いわれのない偏見と差別からバンクーバーから追放した当時の政治家への怨念さえも感じられました。

露店には日本風無国籍料理の飲食物だけでなく、日本らしい小物などの工芸品を売る店などのテントが所狭しと並び、店の前を夏祭りらしく浴衣姿の若者がそぞろに歩いていました。イベントには剣道や空手の実演、舞踊やダンス、傘の上で球回しをする曲芸や獅子舞、バンクーバー神社?の神輿や相撲、生け花や現代絵画の実演、など盛りだくさんのプログラムがありました。また、仏教会内部も公開されていました。この建物は以前キリスト教会だったそうですが、その趣を残したまま仏教会に改装されているとのこと。開教師の青木龍也氏にもお目にかかり、以前トロントでお世話になりました護城開教師の話などありました。青木開教師は現在カナダ仏教会総長もされている方で、2003年からバンクーバー仏教会で務めておられるそうです。

パウエル祭は日系カナダ人の歴史と伝統を彷彿とさせるものでした。最後に一つ、『パウエル街の恐怖』をお話します。公園そばにあるたこ焼き店で5mm角の微小タコ入りのタコ焼きとウナギ入りの「タコ」焼きを買い、露店脇の木陰で家内と一緒に椅子に座り食べておりました。そこに電動車いすを運転する年配の白人男性がやって来ました。最初、何か尋ねたいことでもあるのかなと思っておりましたが、突然、高速で突進してきて危うく家内が跳ね飛ばされそうなところまで来て老人はかろうじてハンドルを右に切って車いすはそのまま露店裏の物置場所に突っ込んで止まりました。家内は左足首を車いすに当てられましたが、幸いかすり傷程度ですみました。周りの人々が騒然となり男性を取り囲んでいましたので詳細は分かりませんが、男性にも怪我はなかったようです。また突進の理由もよくわかりませんでした。兎に角、その時は怖い思いをしました。この日はカナダで数少ない夏日の1日でしたが、その暑さを吹き飛ばすほど身の凍る体験でした。

カナダには多数の民族が集まっているため、その民族の人達の大小の祭りがあります。インドの人達の豊作祭りバイサーキ Visakhi は4月前半に家の近くのメイン・ストリートでも行われ、パレードの他に、数えきれない露店で無料の飲食が提供される華やかな祭りでした。また、最近のことですが、家の近くのサンセット公園では、スコットランド出身の人達がハイランドゲームの丸太投げ、ハンマー投げ、綱引きをして楽しんでおり、そばでバグパイプが演奏されていました。カナダはビザ・パスポートなしで世界旅行のできる唯一の国です。お終い。

パウエル祭の催し物地図



バンクーバー仏教会入口



サンセット公園のハイランダー



日本語学校前の露店の列



同仏教会内部



バンクーバー近郊のバイサーキ・パレード(ネット写真を借用)

